

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

南幌町立南幌小学校
南幌町立南幌中学校

令和3年度 南幌町仲間づくり「子ども会議」

〈取組概要〉

- 教育委員会が主体となり、南幌小学校・南幌中学校・北海道南幌高等学校の児童・生徒（児童会・生徒会）の参加により「いじめの防止・根絶」をテーマに異校種・異世代交流を行う取組



〈具体的な取組内容〉

参加した児童・生徒がグループに分かれ「いじめ防止・根絶」をテーマに討議を行い、その中でテーマに沿った漢字一文字と、その漢字に対するメッセージを決め、グループ毎にポスター作成を行う。

作成されたポスターは、教育委員会により1つにまとめたカレンダーとし、各学校・町内公共施設で掲示を行う。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

奈井江町立奈井江小学校

心に響く「人権教室」

〈取組概要〉

- 毎年、人権擁護委員の方にご来校いただき、2年生、4年生、6年生で人権教室を行っています。事前に打合せを行い、各学年の発達段階に合わせた内容で実施していただいている。



〈具体的な取組内容〉

- 1 2年生では「ウサギとカメ」のその後のお話の紙芝居や折り紙の活動を通して、相手の気持ちを考えることを学びました。
- 2 4年生では「思いやりのブーメラン」の映像を見て、思いやりの気持ちを繋ぐことから、いじめ問題について学びました。
- 3 6年生では人種差別にかかる映像を見て、2・4年生よりも広い視野で考える思いやりの気持ちについて学びました。

児童会活動による「挨拶運動」

〈取組概要〉

- 本校は、児童玄関から入った目の前の場所に「おはようから今日が始まる」というスローガンが掲げられている。その本校の方針に沿って、児童会では児童会役員が中心となり朝の挨拶運動を行っている。

〈具体的な取組内容〉

1 登校時の挨拶運動

児童会役員が登校時に合わせて玄関前で挨拶運動を行っている。この活動を月に数回定期的、継続的に行い、挨拶の習慣化を図っている。

「相手が先に挨拶できる声かけは無いか。」「名前を呼んで挨拶することで明るい挨拶にならないか」など挨拶の仕方を工夫することで「明るく、元気な挨拶」になるように取り組んでいる。



「児童会におけるあいさつ運動」「夢づくり子ども教育委員」

〈取組概要〉

- 挨拶は人と人をつなぐコミュニケーションや交流の第一歩として意識し新体制となった児童会が中心となって取り組んだ。
- 町教委が主体となり、児童を一日子ども教育委員に任命し、自分たちの学校生活や課題、将来の夢などについて語り合う。今回のテーマとして「みんなで進めよう！いじめのない、楽しい仲間づくり」について話し合った。



〈具体的な取組内容〉

1 「登校時間における児童玄関先でのあいさつ運動」

児童会のメンバーが日ごと交代で実施。あいさつ週間として一週間取り組んだ。

2 「子ども教育委員」

児童会役員と6学年代表が参加。いじめのない学校づくりに向けた取組について意見を出し合った。グループワークでは、メンバーの意見から各グループで実現したい取組を1つ選び、具体的な内容について話し合った。最後にはグループ毎に各グループの取組を決議した。



児童会ボランティア委員会が主体となって取り組む「公園清掃」

〈取組概要〉

- 11月は、後期児童会の目標「笑顔のあいさつで、楽しく思いやりのある長沼小学校にしよう」を合い言葉に、児童会役員を中心となってポスター作りや挨拶ビデオ撮影を行っている。

また、7つの各委員会が、各部の計画に基づき主体的な活動を行っている。



〈具体的な取組内容〉

- 1 ボランティア委員会が、「みんなの生活に役に立つボランティア活動をしよう」のめあてを立てて公園清掃を行った。本校は、前期に長沼町「花いっぱい運動」とタイアップした花壇整備を行うなど、町の美観を整えることで心の教育を継続して行っている。学校周辺のゴミ拾いや、近隣の公園清掃を行うなど意欲的な取組を主体的に行っている。
- 2 児童会役員による挨拶運動
児童会三役の児童が、意欲的に挨拶運動を行った。コロナ禍でマスク越しではあっても、笑顔で心の通い合う挨拶を児童自ら呼びかけ合っている。

児童会が主体となって取り組む「あいさつ運動」

〈取組概要〉

- 本校では児童会三役や各委員会が主体となり、全校児童が、明るく、なかよく、お互いを高め合うことができるような企画を考え、実行することで、いじめの未然防止につなげています。その取組の一つとして、「あいさつ運動」を実施しています。



〈具体的な取組内容〉

- 1 校内放送による「あいさつ運動」実施の告知と啓発活動
児童会三役が、お昼の時間、校内放送を使って「あいさつ運動」の趣旨や実施時期、実施場所を告知し、自発的に挨拶を行うよう啓発活動を行いました。これによって学校全体に積極的に挨拶をしようという意欲が高まりました。
- 2 児童会三役・代表委員会による児童玄関前での「あいさつ運動」
児童会三役や代表委員が、毎朝児童玄関前に立ち、児童一人一人と笑顔で元気よく挨拶を交わしています。はじめのうちは挨拶を返す児童が少なかったのですが、運動を続けることで、明るく大きな声で、自発的に挨拶を行う児童が増えてきました。

「わたしのいいあいさつプロジェクト」～児童会企画・6年生主体

〈取組概要〉

○ 児童会の企画

自分たちの挨拶で、相手が「気持ちがいいな」と思ってくれるために意識している点や、工夫している点を一人一人記入し、学年ごとに模造紙1枚にまとめる。

体育館に掲示し、他学年の人たちが、どんなことを意識しているか交流し合う。



〈具体的な取組内容〉

児童会の企画をもとに、6年生が色画用紙を花びらや蝶の形に切り、ベースを作成した。6年生が、全学年にプロジェクトのねらいと手順を説明し、作成依頼をした。

1～5年生は、ベースの花びらや蝶に自分の挨拶でいいところを記入し、動物の絵を追加したり、折り紙で立体的に折った花を付け加えたりして、1枚にまとめた。

体育館に掲示した「みんなのいいところ」をお互いに見合い、感想等述べ合った。

多くの児童が「相手がいい気持ちになるように、挨拶をもっとがんばりたい」と伝えていた。

児童会が主体となって取り組む「元気あいさつ運動」

〈取組概要〉

○ 児童会役員が中心となり「元気あいさつ運動」を行った。

○ 児童会役員が中心となり「お悩み相談活動」を行った。

〈具体的な取組内容〉

1 児童会役員による「元気あいさつ運動」

児童会が作成した移動式黒板の掲示物に状況をマークで記載し、児童会において、元気あいさつ運動の取組が、学級代表を通じて周知され、1週間のあいさつの状況を可視化した。

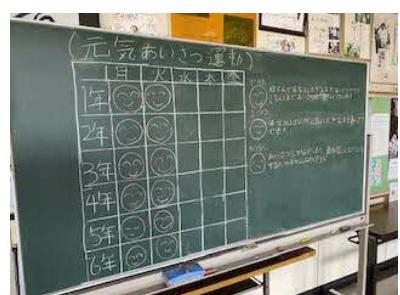
毎日の状況を、学年ごとの表に記載し、各学年のあいさつの状況が見て取れる様に工夫していた。

毎朝、元気なあいさつが廊下に響いていた。

2 児童会役員による「お悩み相談活動」

児童会役員の呼びかけで、校内において困っている悩みなどについて、投稿箱を用意し「悩み相談」を行った。

逆上がりが出来ない児童に児童会役員が教えていた。



「思いやりの心を育てる人権教室」

〈取組概要〉

- 新十津川町に在住の人権擁護委員を講師に招き、4年生を対象として実施した。例年は保護者も対象に加えて「親子で学ぶ人権教室」と題して参観日に実施している教室である。今回は、「心のスイッチ」という詩と「私のせいじゃない」という絵本を教材として、一人の泣いている子の気持ちを感じ、自らを見つめることをねらった授業を実施した。



〈具体的な取組内容〉

1 人権擁護委員の方によるお話

「いじめは、一人の暴力的な人間が一人のひ弱な人間に暴力をふるうという単純なメカニズムではない」ということを、「心のスイッチ」の詩と「私のせいじゃない」の絵本をもとにし、講師の先生のお話から考え、深めていく。

2 自分に照らして考える

共感したこと、感じたことについて、プリントと発表でまとめ、感想を述べ合う。

児童会が主体となって取り組む「仲間との絆づくり」

〈取組概要〉

- 児童会役員が中心となり、児童会で組織している各専門委員会が仲間との絆が深まるような取組を企画して実施した。



〈具体的な取組内容〉

1 書記局、生活委員会で取り組む「あいさつ運動」

書記局では休み時間に手洗い場で手洗いの呼びかけと合わせて、生活委員会では朝と休み時間に廊下で、それぞれ自ら積極的に挨拶して明るいあいさつが交わされるよう取り組んだ。

2 体育委員会、文化委員会、放送委員会で取り組む「異学年交流企画」

体育委員会と文化委員会と放送委員会では「体育レク」「宝探し」「放送」を通じて、それぞれ密を避けながら異学年で交流できる企画を休み時間に実施した。

3 図書委員会で取り組む「図書のポップづくり」

図書委員会では学校の図書を通じて友達作りが進むようにポップづくりに取り組んだ。

児童会が主体となって取り組む「仲間づくり」運動

〈取組概要〉

- 妹背牛小学校では、いじめのない笑顔でいっぱいの学校にするために、児童会を中心に、全校児童が絆を深める「仲間づくり」の活動に取り組んでいます。

〈具体的な取組内容〉

1 児童委員会による玄関ホールでのあいさつ運動

児童委員会では、週に2回、登校時間に玄関ホールでのあいさつ運動を行っています。児童や先生方も含めたみんなでのあいさつをし合うように呼びかけています。そのため、妹背牛小学校では、毎朝、玄関は元気な「おはよう」の声がとび交っています。



あいさつ運動をすることで、友達や先生とのコミュニケーションが取れ、より良い人間関係をつくることに役立っています。

2 児童委員会による「えがお」運動

今年度は感染拡大防止のため、全校児童で交流する集会等は実施できませんでしたが、児童委員会で企画した「えがお運動」という活動を行っています。

「1日笑顔で過ごせた」場合、下校前に「あいさつ運動」が行われている廊下の掲示板にシールを1枚貼るという取組です。掲示板には、各学年ごとに「チョウ」等のポスターが貼ってあり、チョウの羽根にシールを貼ることになります。



昨年度は「花」のポスターでしたが、児童委員会で話し合い、今年度は「チョウ」のポスターに決まりました。チョウのデザインから制作まで児童会役員メンバーが担当しました。1日笑顔で過ごせたという日には、下校するときに玄関ホールに掲示してある用紙に1枚シールを貼るという活動です。色とりどりのシールが貼られることで、チョウのキレイな羽根が完成するというイメージです。

後期の活動は、「心の教育推進月間」に合わせて、11月からはじめました。下校前にポスターの前でシールを貼る子達の姿が増えています。朝は元気なあいさつ、帰りは「その日一日笑顔で過ごした印」で交流する子ども達の姿が何とも爽やかです。

3 「なかまづくり小中交流会」

妹背牛小・中学校では、例年、10月下旬に開かれる地域参観日に合わせて、小学校・中学校の全校児童生徒が集まり、合同で「なかまづくり集会・いじめ根絶集会」を開催しています。小・中学校それぞれの児童会・生徒会で行っている「仲間づくり」の活動を紹介し合ったり、いじめ根絶を目指して取り組んでいる「絆づくりメッセージコンクール」ポスター受賞者の表彰式を行ったりしています。

昨年度と今年度は、感染症拡大防止のため、全校児童生徒、および保護者・地域が集まるとはできませんでしたが、小学校の児童委員会と、中学校の生徒会役員が集まり、規模を縮小して集会を行いました。集会の様子は、それぞれ小学校・中学校で紹介し合い、全校児童生徒が交流する代わりの機会としています。

今後も、小学校・中学校あわせて、子ども達が自ら「いじめはどんなことがあっても許されない」という意識を強く持ち、仲間を増やしていく活動を進めていきます。

ひまわり運動 絆づくりプロジェクト

〈具体的な取組内容〉

絆づくりプロジェクト

- いじめの芽は、子ども達を取り巻くさまざまな場面にあり、ちょっとしたことや何気ないことが子ども達の心を傷つけてしまう場合があります。

秩父別小学校では、すべての教職員が子ども達の様子を細やかに観察するとともに子ども達と積極的に関わることで、一人ひとりの表情や言葉を受け止め、よりよい対応と指導を通して、いじめの未然防止に努めています。これらの取組により、【いじめは、けっして許されるものではない】という意識が、子ども達一人ひとりの中に育ってきています。

今月は、書記局が作成した目標「ひまわりのような笑顔あふれる学校」を目指して、書記局の子ども達が「ひまわり運動 絆づくりプロジェクト」を行いました。全校朝会の書記局からの呼びかけで集まった【元気なあいさつシール】と【友達への感謝の言葉】が貼り付けられ素敵な掲示物が完成しました。

このような取組を通して、子ども達には、いつも自分の言動について考え、まわりの友達と優しく関わる気持ちを大切にしてほしいと考えます。



児童会が主体となって取り組む「あいさつ運動」「異学年交流」

〈取組概要〉

- 雨竜小児童会、雨竜中生徒会が中心となって「あいさつ運動」「異学年交流」等に取り組んでいます。施設一体型の校舎の利点を活かし、学年をこえて笑顔で仲良く、お互いを高め合うことでいじめ防止につなげています。



〈具体的な取組内容〉

1 「交通安全・あいさつ運動」

児童会と生徒会が連携して、交通安全の啓蒙とあいさつの励行を促すために春と秋の2回スクールゾーンと児童玄関前で実施しています。

2 「異学年交流」

小中の各委員会が連携し、委員会毎に異学年交流を目的としてレクを計画し、実施しています。今年度は、保育委員会による「ボール運びリレー」図書委員会による「読み聞かせ」等が行われ、小中連携を通して健やかな心身の成長につながる取組を実施しています。

小中合同「いじめ根絶集会」

〈取組概要〉

- 北竜町の児童生徒が安心して生活を送ることができるいじめのない明るい学校をつくるために、児童会・生徒会が中心となり「いじめ」について一緒に考える機会をもつ。



〈具体的な取組内容〉

- 1 事前に、いじめ意識アンケートの実施、いじめに根絶川柳・標語づくりに取り組む。
- 2 当日の集会で、アンケートの中でいじめとの認識が低かった項目を話題として、縦割り班グループで話し合いを行う。
- 3 縦割りグループの話し合いの様子を全体で交流する。
- 4 川柳・標語の発表、いじめ根絶メッセージの全体確認を行う。

児童会企画の「全校あいさつ運動」

〈取組概要〉

- 全校児童がいつも笑顔でいられるようにし、心を通わせいじめのない学校にすることを目標に、児童会役員が毎朝登校時に「あいさつ運動」を実施している。



〈具体的な取組内容〉

- 児童会役員（会長・副会長・書記）が毎朝児童玄関前に立ち、登校してくる児童に挨拶の声かけと、ジャンケンをして出迎えている。1年生から6年生まで児童間に自然と関わり合いが生まれるよう、内容を工夫して行っている。

仲間づくり（いじめ防止・根絶）に向けた取組

〈取組概要〉

- 児童会役員が中心となり、仲間づくり（いじめ防止・根絶）に向けた取組を考え、実行することで、「みんなが仲良く過ごしたい」という気持ちを全校に広げています。

〈具体的な取組内容〉

1 全校集会の進行と呼びかけ

月1回の全校集会の司会進行を務め、毎回、児童会役員から全校に伝えたいことを書記局で考え、呼びかけています。

これまで、「ふわちく言葉」「心や体の健康の大切さ」「行事に向けての心構え」などを呼びかけてきました。

特に、「ふわちく言葉」は、書記局が考えた言葉で、心があたたかくなる思いやりのある「ふわふわ言葉」と、人を傷つけたり嫌な気持ちにさせたりする「ちくちく言葉」の2つを合わせた言葉です。集会では、言葉の例を提示し、ふわふわ言葉を広げていこうと呼びかけました。

2 あいさつ運動

「いじめがなく、健康で笑顔あふれる学校」が書記局の目標です。

コロナ禍で、学年を超えた活動が制限されていることから、挨拶を通して心の交流を図ろうと、書記局や各学級の学級委員が玄関に立ち、挨拶運動を行いました。また、ポスターを作成し、呼びかけました。

3 おなやみボックス

「おなやみボックス」とは、困っていることを紙に書いて、設置したボックスに入れてもらい、その入っていた悩みをもとに、よくない言動、望ましい言動を書記局が考えて、朝学習の時間に全校放送で紹介することによって、差別なく、みんなが仲良く過ごしたいという気持ちを広げていこうという取組です。



「できしたことみつけ」から広がる「ありがとう」「すてきだね」の輪

〈取組概要〉

- 昨年度は「よいとこみつけ」月間に続き、今年度は「できしたことみつけ」月間とし、自ら、そして友達の「できしたこと」を積極的に見つけることを行った。

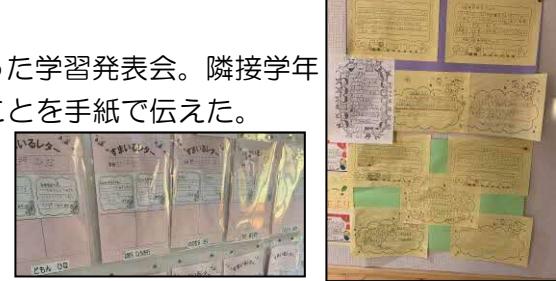


〈具体的な取組内容〉

- 1 「できしたことノート」の取組
毎日1つでも、できたことを帰りの会に記入し、金曜日に振り返りを行った。
- 2 「ピア・サポート」の継続実施
毎週月曜の朝の会などで、ピア・サポートプログラムを実施した。

〈取組の波及〉

- 1 感染症対策で、全校で見せ合うことができなかった学習発表会。隣接学年の発表を見た児童が「良かった・すてきだった」ことを手紙で伝えた。
- 2 学級内で、相手の良さや感謝を伝え合う
「スマイルレター」の取組に発展した。
これらの取組が全校に広がり、廊下の壁面が「ありがとう」「すてきだね」でいっぱいになった。



仲間づくり（いじめ防止・根絶）に向けた取組

〈取組概要〉

いじめアンケートの取組から、全校児童に向けていじめはよくない、相手を傷つけることにつながるということを知ってもらうために「いじめは心にきずがのこる」というキャッチコピーを作り、それをもとにポスター、児童会だよりの作成に取り組んだ。

いじめアンケートの結果、「いじめは許されないと思うか」という問い合わせに対して、「そう思わない」「よくわからない」と回答した児童がいたため、作成を行いいじめに対する認識を高めた。（前期役員から、後期役員へ引継ぎの取組）

〈具体的な取組内容〉

- 1 各学級で、児童会役員が中心になり、取組の内容を含めて説明をした。
11月実施のいじめアンケートの結果を見たところ「いじめは許されない」と答える児童が増えた。
- 2 11月実施の「岩見沢市仲間づくり子ども会議」に参加し、さらに効果的な取組について考える機会を持った。また、学級でのピア・サポート活動を児童会が行うなど、自主的な取組に繋げている。



児童会が主体の「いじめをなくそうプロジェクト」

〈取組概要〉

- 児童会が中心となり、悩みを抱えている児童と思いを共有し、一人で悩まずに一緒に考えていこうとする態度を広げていく取組を行った。

〈具体的な取組内容〉

- 1 児童会と代表委員がチラシとアンケートを作成し、全校へ配布し、アンケートボックスに回収する。
- 2 アンケートボックスに集まった声を児童会が集約し、それぞれにコメントをつけてプリントを作成、配布する。各学級の学活などで取り上げ、悩んでいる児童の思いを共有する。

いじめをなくそう プロジェクト

～みんなの想いをまとめて～
～いじめをなくすための活動～
～みんなでいじめをなくすために～
～いじめをなくすための活動～
～いじめをなくすための活動～
～いじめをなくすための活動～
～いじめをなくすための活動～

いじめをなくそうアンケート

① 「いじめあるけれどいやだな」と悩んでいますか？
はいあります
いいえ、ありません
ひやんざいません

② ケガはどんなことがありますか？



思いやりのある学校作りの取り組み

〈取組概要〉

- 児童会書記局の活動目標の「コロナの中でも、思いやりのあるあいさつのあふれる学校を目指す」に向けていろいろな活動に取り組んでいる。

〈具体的な取組内容〉

- 1 車いすを贈ろう～リングプル回収
「からだの不自由な方に車いすを贈ろう」という思いで取り組みを引き継ぎ、車いす1つ分のリングプルを回収できた。その後、車椅子1台を地域にある幌向総合コミュニティーセンター「ほっとかん」に寄贈した。
- 2 ジャングルジムのペンキ塗り
前期児童会の書記局が学校アンケートを全校に募集したところ、遊具を新しくしてほしいという要望があり、書記局では、新調することはできないので、自分たちができることとして、さび付いたジャングルジムのペンキ塗りを行った。



仲間づくり（いじめ防止・根絶）に向けた取組

〈取組概要〉

1 朝のあいさつ運動

東小学校では、児童会の書記局と4年生以上の学級三役が中心となって、朝のあいさつ運動を行っています。毎朝登校時にメンバーが玄関前に立ち、元気なあいさつをして、あいさつが返ってくることを目標に活動しています。

これからも、大切な児童会活動として、続けていきたいと思います。



2 ろう下パトロール

右の写真は、学習生活委員会が取り組んでいる「ろう下パトロール」の様子です。委員会活動の1つとして、学校生活を安全かつ問題なく過ごせるように、中休みの時間と昼休みの時間を利用して、専用の黄色いベストを着用して校内のパトロールを行っています。いじめや危ない遊びがないかなどをチェックしています。



〈具体的な取組や成果〉

1 朝のあいさつ運動

活動のはじめの方は、あいさつを返してくれる人が少なかったのですが、継続的に毎日行うことで、全校児童みんながあいさつの大切さを意識してもらうことができ、大きな声であいさつが返ってくるようになりました。自分の学年だけでなく、他学年との仲間づくりも自然にできています。東小学校は、元気な声が朝から響き渡っています。

2 廊下パトロール

定期的に見回ることで、ろう下を走ったり、階段を駆け下りたりする児童が少なくなっています。また、危ない遊びをしていないか、入ってはいけないところで遊んでいないかなど、危険な遊びやいじめにつながるような行いも未然に防ぐことができています。とても頼りになる活動です。

3 その他

東小学校では、10月から縦割り清掃を開始しました。上級生が下級生に教えながら、みんなで協力して行い、他学年との交流により、幅広い仲間づくりとリーダー性を育てていきたいと考えています。また、体力作りの一環として、児童会が中心となって「ボディパワープラス」を行っています。グラウンドや体育館を使って、みんなで体力作りを行う企画を立てて、楽しく交流しながら活動を行っています。

仲間づくり（いじめ防止・根絶）に向けた取組

〈取組概要〉

- 児童会役員が中心となり、コロナ禍で集えない中、ポスターや映像などを活用し、仲間作りに向けた取組を行った。



〈具体的な取組内容〉

- 1 今年度は「1年生を迎える会」を集会の形で行えなかつたので、各学級からお祝いのメッセージを作成してもらい、体育館に掲示した。工夫をこらして丁寧に作り上げた作品で、不安でいっぱいの1年生を温かく迎えることができた。
- 2 児童会で「いじめについて考える」VTRを作成し、全校でいじめについて考える時間をとった。いじめをされた人の気持ちや、いじめをする側の勝手な理由についてふれ、いじめが絶対にゆるされないのであることを確認した。
美園小の「いじめをなくすやくそく」を児童会で作成した。
 - ① お互いのいいところをさがそう。
 - ② 自分だけで悩まないで誰かにたよろう。
 - ③ いじめはみんなの問題。みんなでなくそう。
- 3 「いじめ防止標語」作りを全校で行い、「絆づくりメッセージコンクール」に応募した。
いじめをなくすために、どんなメッセージがあればよいかを各学級で考えた。



児童会が主体となって取り組む「あいさつ運動」

〈取組概要〉

- あいさつ運動
 - ・児童会のテーマ「みんながありがとうと言える。あいさつができる。」を目指して書記局が中心となって活動した。
 - ・目標は「クラス全員にあいさつすること」とした。
 - ・具体的には「クラスに入るときにあいさつしよう。」「クラスに入ってきた人にあいさつしよう」と身近なひとにに対して自然にあいさつできるよう呼びかけた。



〈具体的な取組内容〉

- 1 代表委員会を開き、運動の趣旨と要領を周知する。
- 2 校内放送や児童会便りを発行したり、朝玄関に立って全校に呼びかけたりする。
- 3 表を作成し、代表委員にクラス全員にあいさつできた人数のチェックをお願いする。
- 4 期間の結果をまとめる
- 5 表彰状をつくり、表彰する。

児童会が主体となって取り組む「より良い仲間づくり」

〈取組概要〉

- 今年度は、テーマ「元気・根気・勇気～明るく楽しく楽しい第一小学校」のもと、書記局を中心に各委員会で「よりよい仲間づくり」に取り組んでいる。子どもたちの願いは、下記の3点。

- ①「元気」 みんなが楽しくなる活動をする。
- ②「根気」 楽しいことにつなげるためにあきらめずに仕事をする。
- ③「勇気」 勇気をもって挑戦し、目標を達成する。



新型コロナウィルス感染症予防や緊急事態宣言発令により、活動の制限はあったが、可能な範囲で実際に取り組んだ活動について報告する。

〈具体的な取組内容〉

① 児童会書記局、代表委員会、生活委員会

「あいさつ運動」：登校時間帯にて、朝の挨拶をする。今回は、「おはようございます」だけでなく、「元気ですか？」「今日は楽しみなことは何ですか？」など工夫して話しかけるように取り組んでいる。

② 児童会書記局、代表委員会

前期「ずっと走っている鬼ごっこ」：異学年の交流はできなかったが、学年ごとに走り続けることの楽しさ、仲良く遊びことの楽しさを伝えるために取り組んだ。

後期「仲良し集会」：「ポーズを合わせて」「じゃんけん陣取り」を異学年（2学年）で行う予定である。ルールを守って、楽しく遊ぶことを通して交流を深めていく。

③ 文化委員会

「お誕生日カレンダー」：開校50周年を記念して、全校の子どもたちのお誕生日も祝おうと、各月ごとに集まり一人一つずつ折り紙を折って、カレンダーに貼り付け、エントランスに掲示している。



④ 集会委員会

「学年集会」：後期学年集会を計画中である。

⑤ 図書委員会

「図書スタンプラリー」：図書委員を中心に、読書の推進活動を進めている。

〈取組の成果〉

- 児童会書記局が提案したテーマに沿って、「より良い仲間づくり」を目指し、それぞれの委員会が協力して活動している。今後も、高学年から低学年へと「仲間を大切に思う心」が引き継がれ、共に取り組んでいける学校（児童会）体制が維持されていることが成果である。

仲間と心をつなげよう・みんなでつながろう

〈取組概要〉

- コロナ禍で縦割り清掃、委員会活動、クラブなど異学年交流ができない状況が続いています。そのような中、児童会役員の企画で仲間とつながるような企画を考え推進しました。

〈具体的な取組内容〉

1 心をつなごう「ありがとうの木」大作戦

前期児童会役員の活動として、直接異学年交流ができない中、みんなにありがとうの気持ちを伝えたいと、児童玄関に児童全員のありがとうの気持ちが詰まった「葉」を掲示し「ありがとうの木」を作りました。

当初は、児童玄関に葉と筆記用具を置いて書きたい児童が書いていく計画でした。しかし、コロナ感染対策として一人1～2枚に限定して書き、掲示することにしました。

内容は、「遊んでくれてありがとう」、「優しくしてくれてありがとうございます」、「友だちでいてくれてありがとうございます」の感謝の気持ちが綴られています。日常では伝えられない気持ちが、そこには書かれています。

後期の役員からも「いい企画なので続けたい」と提案があり、感染状況が落ち着いた現在、各学級で新たに「葉」を自由に書いてもらうようにしました。秋ということもあり、赤や黄色の葉が増え、さらににぎやかなみんなの心がつながった「ありがとうの木」になりました。

2 コロナが落ちついてきた！「休み時間異学年交流」

10月、初めて異学年が集まって行った委員会活動。後期児童総会では、書記局の活動のめあてが、「夢を語り合える学校」と決まりました。具体的にどんなことをやりたいか話し合を進めると、「みんなと遊びたい」の意見が多く、書記局が中心となって「休み時間異学年交流」を企画しました。

11月、体育館に2つの学年が集まり、上の学年が遊びを企画して楽しい時間を過ごしました。学級でどんなことをするか、みんなが楽しむにはどんな工夫をしたらいいか話し合いました。休み時間、体育館に集まった2つの学年は、「おにごっこ」や「だるまさんがころんだ」などを行い、久しぶりの異学年の触れ合いに大盛り上がりでした。休み時間が終わると、汗だくになり笑顔いっぱい教室に戻っていました。「またやりたいね」と次回を楽しみにしていました。



児童会が主体となった取組～挨拶・仲間づくり～

〈取組概要〉

- コロナ禍でも、全校児童が「学校に来るのが楽しい」と思えるように、児童会書記局が中心となり、「挨拶、仲間づくり」をテーマに設定し、計画を立案、実践を行っている。

〈具体的な取組内容〉

1 朝の挨拶運動

毎週、火曜日から金曜日の8時から8時10分の間に児童会書記局が児童玄関に立ち、登校してくる児童に「挨拶運動」を実施している。毎日元気に一日のスタートを切ることができるように、書記局の児童が率先して、登校する児童に気持ちの良い挨拶をしている。



2 全校自己紹介ポスター

全校児童の氏名や好きなこと等を知ってもらうことを目的に、「全校自己紹介ポスター」作成を行った。コロナ禍で普段はマスクを着用しており、目元しか見えないため顔写真を入れて作成した。



児童会が主体となって取り組む「仲間づくり（いじめ防止・根絶）」

〈取組概要〉

- 「いじめのない明るく、楽しく、仲良く、一人一人が輝く学校にする」をモットーに、児童会が中心となり、「挨拶運動」や「なかよし集会」などの異学年交流を実施している。



〈具体的な取組内容〉

1 「挨拶運動」

普段から元気よく挨拶をしている子どもたちであるが、特に「挨拶運動週間」の時期は、挨拶から広がる子どもたち同士のおしゃべりによって仲間意識を高めることを大切にしている。

2 「なかよし集会」

11月は、縦割り学年で協力して「鬼ごっこ+宝探し」を実施した。全校児童が一堂に会した遊びを、一年間の中で計画的に実施することを通して、仲間意識や連帯感を育んでいる。



空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立北村小学校

岩見沢市立北村中学校

児童会・生徒会が主催する「全校遊び集会」と「小中合同レク」

〈取組概要〉

- 小学生同士の異学年や小中の異校種の児童・生徒が、相談・協力し合う活動を通して、互いを大切にして交流を深める。



〈具体的な取組内容〉

1 全校遊び集会

『縦割り班対抗 北村小学校なんだろうな？クイズ』

北村小学校に関係のあるクイズを、縦割り班のメンバーで相談し合って楽しく競い合う。正解でも不正解でも楽しく行う。児童会役員が中心となり、縦割り班を使って、学年の枠をこえた仲間との絆をつくったり、深めたりする活動です。

2 児童会・生徒会合同レク『北村エンジョイタイム』

小中学生の縦割り班で、中学校の体育館とホールに隠してある「宝のカード」を班の中の小中学生が協力しながら探す。できるだけ小学生が探せるよう、中学生がアドバイスをする。異校種間で相談したり、協力し合ったりすることにより、互いに大切にしながら交友を深めます。

空知管内♡心の教育推進月間の取組内容

岩見沢市立栗沢小学校

児童会・生徒会が一体となって取り組む「小中いじめ撲滅集会」

〈取組概要〉

- 児童会・生徒会役員が中心となり、協働の意味やよりよい人間関係の構築を図ることを目的とした集会である。具体的には栗沢小中の5年生から中学3年生までが縦割り班に分かれ、差別やいじめについて話し合った。



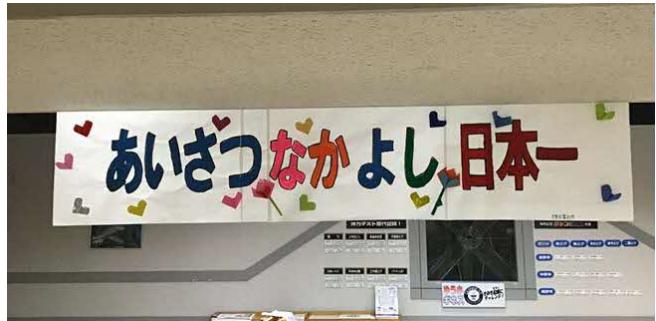
〈具体的な取組内容〉

- 1 小学生・中学生が15グループの縦割り班に分かれ、いじめや差別がなぜ起こるのかをグループ討議し、「差別・いじめ防止スローガン」を考える。
- 2 5年生が「絆メッセージ校内コンクール」を合わせて開催した。いじめ撲滅を目指すメッセージに校内の各先生方が一人一人「〇〇先生賞」作品を選んだ。これらの作品は、5年生全員分を校内の各箇所に掲示して、他学年も見合えるものとした。校内のあちこちでメッセージを目にした子ども達が友だちを思いやることの大切さを再認識していた。メッセージの中には、自分の発言や行動に気をつけようといったものから、個性の尊重や自分の苦悩を発信しようといったもの、気づいた周りも手を差し伸べようといった内容のものまで多岐にわたった。

児童会が主体となって取り組む「挨拶運動」

〈取組概要〉

- 玄関ホールに挨拶運動のスローガン
「あいさつ なかよし 日本一」を掲示し、気持ちのよい挨拶であふれる学校にする。



〈具体的な取組内容〉

1 全校への啓発

児童会書記局が、あいさつ運動のスローガンが書かれた横断幕を作成する。

2 あいさツリー

児童会書記局が、友達に進んで挨拶できた回数に応じて、ツリーに飾り付けを行う。

児童会活動「みんなを笑顔に！！」

〈取組概要〉

- 児童会書記局では、児童会のテーマ「あいさつ・協力・元気」を実現させるために、様々な活動をしています。ここ数年は、新型コロナウイルスのために、児童会活動も思うように出来ない状況ですが、その中でも出来ることを創意工夫しながら、より良い学校にしようと努力してきました。みんなを笑顔にする企画をたくさん考え、実行しています。



〈具体的な取組内容〉

- 1 「ゲリラドラクエあいさつスタンプラリー」書記局が、朝各学級へあいさつに回り、その学級でできなあいさつをした子を引き連れて、次の学級にあいさつ運動に行きます。
- 2 「おなやみパックと解決ボックス」書記局に相談したいことを用紙に書き、お悩みボックスに入れます。それをお昼の放送や、書記局新聞にて回答します。
- 3 「桜満開プロジェクト」良いニュース、うれしかったこと、ありがとうの気持ちを桜の花びらに書き、大きな木に貼り付けます。春までに満開にするプロジェクトです。
- 4 「中央小オリンピック」フラフープ大会、みやぞん顔真似大会、紙飛行機大会、絵しりとり等、様々な種目を日常と全校集会で行い、金メダルを目指し楽しく競います。

児童会が主体となって取り組む「挨拶運動」

〈取組概要〉

- 前期・後期共に、児童会の書記局と代表委員会の児童が2週間にわたり玄関前で挨拶運動をしている。



〈具体的な取組内容〉

1 児童会役員による児童玄関前での挨拶運動

児童会三役の児童と代表委員が、児童玄関前で挨拶をしている。始めた当初は、なかなか声をかけても元気な挨拶を返してもらえず、困っていた。そこで、元気に挨拶をしてくれた人にシールを配り、学級ごとに集めて集計して、啓発活動を実施してきた。年々さまざまな取組が充実している。

2 校内放送での啓発活動

挨拶運動に取り組んでいる様子などを昼の校内放送で流したり、呼びかけたりしている。また、挨拶運動で集めたシールの数を集計し、クラスごとに挨拶を返してくれた人の割合を求めて、ランキングを昼の放送で発表する予定である。上位3クラスには、賞状を渡す活動も行っている。どうやったら、この活動が盛り上がるのか、どのような方法が効果的なのか、代表委員会で何度も集まって検討し、毎年様々な方法で実施している。

絆づくりに対する取組

〈取組概要〉

- コロナ禍における、感染者への差別や偏見が社会問題となっている。芦別市においても、幼稚園からのクラスターなどにより本校の児童から感染者や濃厚接触者が発生した。社会的弱者に対する差別や偏見をなくす（コロナによる誹謗・中傷をなくす取り組み）活動も含め、児童会の呼びかけにより全校児童で絆づくりに取り組んだ。

〈期間：4月16日（金）～11月12日（金）〉



〈具体的な取組内容〉

1 絆づくりメッセージコンクールへの応募

代表委員会から、作品募集の呼びかけを行い、学級ごとにメッセージを作成し応募した。

2 児童会による児童玄関前での児童民生委員との挨拶運動

児童会三役、代表委員、生活委員の児童が、児童玄関前で月2回、児童民生委員とのあいさつ運動を行った。（4月から10月まで）

3 「芦別クリーンday」への参加（4/16, 11/12）

CSの取組である「芦別クリーンday」に児童会としても参加し、集めたごみをまとめた。

異学年集団(たて割り班)の活動を通して連帯感を育む取組

〈取組概要〉

○ 上小チャレンジ大会

- ・5・6年生がリーダーとなるたて割り班を編成し、一つの活動を助け合いながら行うことにより、協力する態度や、学校生活の中に楽しいひとときを創り出すことなどを目的として実施している。

※感染症対策を踏まえ、これまでのねらいや実施方法を改善・工夫しながら企画した。



〈具体的な取組内容〉

1 上小快適空間コンテスト

- ・たて割り班で一つのテーマを決め、学校生活が豊かになるような飾りつけを行う。
- ・飾りつけは、年度末まで活用できるよう、リーダー会議等において、場所や飾りつけの方法を調整・工夫する。
- ・高学年が低学年のお世話をしながら、学校全体の連帯感が高まるようにする。

2 全校レク

- ・児童会書記局が中心となって企画・運営を行い、上記のコンテストと同じたて割り班の親睦が深まるようにする。

「あいさつの道」運動～児童会が主体となった挨拶運動～

〈取組概要〉

○ 児童会役員が中心となり、児童玄関前から壁沿いに「あいさつの道」を作成。「あいさつを元気にできる学校」を目標とし、挨拶運動を行っている。

挨拶することで、学年のキャラクターがゴールに近づいていく活動。



〈具体的な取組内容〉

1 児童会役員による児童玄関や教室での挨拶運動

- ・週に3日、登校時間に児童会役員が全校児童にあいさつをする。
- ・相手を見て、挨拶をすることをよびかける活動を行った。

2 毎週月・水・金曜日の登校時間に児童会役員が児童玄関や各学級を訪問

挨拶をしてくれた人の合計が5人で1cm分、各学年のキャラクターが前に進む。児童玄関前廊下から教室に向かう道を作り、各学年のキャラクターを貼り、挨拶をした人数分だけ前に進めしていく。

3 ゲーム性を活かして、挨拶を形に残すような「あいさつの道」を続けていく。

児童会主体の「岡小思いやり宣言」の充実

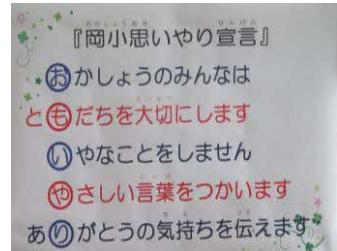
① 「あいさつ運動」

〈取組概要〉

- 書記局が中心となり、あいさつの大切さを呼びかける。

〈具体的な取組内容〉

- 1 書記局が中心となり、登校時など明るい挨拶の啓発を行う。
- 2 全校集会や昼の放送で呼びかける。



② 「岡プレ」

〈取組概要〉

- 5, 7, 11, 2月に書記局主催で行う昼休みの縦割り班活動を行う。高学年は低学年の面倒を見る優しさ、低学年は「高学年に見てもらう」感謝の気持ちを育成する。

〈具体的な取組内容〉

- 1 児童会書記局が主催し、簡単なルールで楽しく全校児童で活動し、より仲間意識を築く。
- 2 良いところ探しゲーム

人から言われて嬉しかった言葉を出し合い、実際にグループ1名を選出し、良い点を言ってもらう体験をする。その体験を基に円滑なコミュニケーション能力、思いやりの気持ちを育成する。

仲間作りのための「いい顔 いい声 いい心」を広げる児童会

〈取組内容〉

1 「あいさつの花」～あいさつ運動くいい顔 いい声 いい心～

長年続いているあいさつ運動により活発にするため、昨年度よりあいさつを返してくれた仲間にシールを渡して掲示板に貼ってもらう活動に取り組んでいます。

そのおおきなねらいは、声とともに実際にふれあうことによっておたがいの気持ちをかよわせ、「いい心」を広げていくことです。

もう一つはシールをもらう楽しさと、はったシールが目に見えていくやりがいを感じてもらうためです。

今年度は、さくらの花の形のなかに学年ごとはってもらいました。校長先生には、

「よい挨拶になってきましたね」

と、言葉をかけて頂きました。



2 「笑顔スペシャル」運動くいい顔 いい心

この内容の活動も数年続けています。本年度は、いつもの生活のなかで、「助けてもらった」(青色)こと「笑顔になった」(ピンク色)ことを書いて掲示しました。

どんな小さな事でもうれしいと感じることができること、学校生活には笑顔になることがいっぱいあることを知ってもらいたかったのです。

そして、仲間のためにできることを考え、実際にやってもらう。それによって、すばらしいつながりができるようになってもらいたいです。



3 「学校あるある川柳」運動くいい心

今年度、新しく取り組んだ活動です。「夏休みのこと」「学校生活」「友だち」「気をつけたいこと」など自分が体験したり、感じていることを言葉にして伝え合う取組です。

これを見て、「同じようなことがある」「わたしもそう思う」「そんな失敗あるんだ」などの感想を持ってもらい、

「そう思うのは自分1人ではないんだ」という絆を感じもらいたかったのです。なお、低学年もいるので川柳だけでなく短い言葉でもよいことにしました。

73人の児童が参加してくれました

「ステージにのぼるのだけもうしない」

「ゲームやっていたらもう夜だ」

「学校であいさつすれば元気である」

「夏休み しゅくだいいっぱいおあわて」

〈成果(○)や課題(▲)〉

○全校の児童が一つひとつの取組に参加してくれたことがとてもよかったです。

○活動を続けていくうちに多くの仲間とふれあうことができた。

○「ナイスアイディアプロジェクト」を通して各委員会との協力ができた。

▲少ない活動時間を大切に使う計画が必要だった。

▲反省をいかして後期の活動をよりよいものにすること。

児童会を中心として取り組む「二小をよくする会議」

〈取組概要〉

- 児童会が中心となり、二小をさらに良くするため、話し合いたいことについてアンケートを実施し、学級で出された意見について取組を進めていく運動を行った。



〈具体的な取組内容〉

- 1 5つの項目について、一人一人が考えたことをふせんに書き、その中から、何について相談するのかを決め、学級会で話し合いました。【会議内容】
 - ①なんで、あいさつをするのか
 - ②コロナ対策（自分たちができること）
 - ③ろう下の歩き方
 - ④よりよい学校にするために（なぜいじめはダメなのか・相談する場を作ろうなど…）
 - ⑤何でもできる学校にするために
- 2 話し合ったことは、代表委員会で代表委員が発表し、全校に掲示で知らせました。
- 3 今回の取組を受け、さらに絆を強めるために、『話し合いたいこと・やりたいこと box』を設置しました。低学年から高学年まで、みんなが取り組めることを実施していきます。

児童会絆づくりプロジェクト「あったかハート大作戦！」

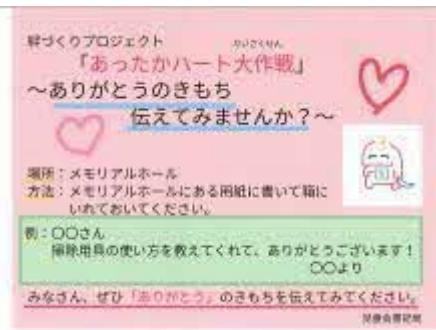
〈取組概要〉

- 児童会書記局が企画。滝川市絆づくりプロジェクトの一環として、朝の挨拶運動と平行して「あったかハート大作戦！」を企画した。



〈具体的な取組内容〉

- 1 児童会が作成したポスターによる啓発活動
 校舎内各所にポスターを貼り、企画の啓発を行った。
 本校メモリアルホールに友達に伝えたい「ありがとう」の気持ちを用紙に記入して掲示。伝えたい相手だけでなく、読み手にも伝わる心のあたたかさが校内に広がった。
- 2 児童会書記局による正面玄関前での挨拶運動
 児童会書記局の児童が、正面玄関前で挨拶運動を行っている。ポスターを持ち、挨拶の声をかけることで児童同士の結びつきが高まった。



コロナに負けない、学校を明るく元氣にする活動

〈取組概要〉

- コロナ禍の中でも、放送やタブレット端末を活用するなどの創意工夫した取組を展開することによって、全校児童相互の良さを認め合う活動を推進し、仲間意識を高めることができた。



〈具体的な取組内容〉

1 「スマイル☺プロジェクト」

～学級のキラリと光る人、または学級のキラリと光るいい話の紹介～

お昼の放送を活用し、各学級の魅力を紹介することによって、お互いの良さを認め合い、明るく元気な学校づくりを進めることをねらいとした取組を実施した。

1～3年生は担任が、4～6年生は学級の代表児童が原稿を書き、児童会役員が紹介した。週1回の放送日を設け、紹介の後には必ず児童会役員から一言コメントも付け加え、学級の魅力や自慢を応援する取組とした。



回を重ねるごとに放送日を待ちにする声が聞こえたり、放送中に“学級のキラリと光る人”として紹介された児童が、クラスの仲間から拍手をもらったりするなど、温かい気持ちが児童の間に広がった。



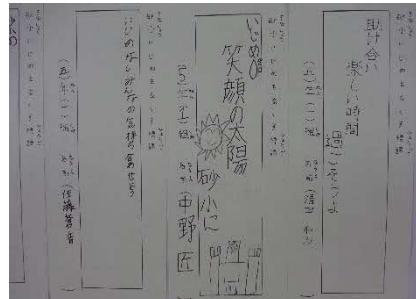
全ての放送を終了した後も、全校児童に感想を書いてもらったところ、「すてきな取組をありがとう！」「心が元気になれました」といった感想が寄せられた。それらを掲示板に表示して、全校の思いとして共有した。

コロナ禍の中にあって、人と人との物理的距離をとらざるを得ない環境下にあっても、温かい気持ちを互いの心に届けあうことを可能とした取組となった。

児童会の取組 「いじめをなくす標語」

〈取組概要〉

- 本校では児童会が中心となり、「心からあたたかい言葉をかけられるいじめのない学校にする」を目標に様々な活動を計画しました。11月は全校の児童一人一人が自分たちの学校をいじめのない学校にするためにはどうすればよいかを考え、標語をつくりました。また、いじめをなくすための標語は体育館に掲示して、いつでも見ることができるように工夫しました。



〈具体的な取組内容〉

- 1 児童会書記局が中心となり、全校児童にいじめをなくす標語を募集する。
- 2 集まった標語を模造紙に貼り、体育館の壁に学年ごとに掲示する。

仲間との絆を深め、豊かな心を育むスローガンや異学年交流の取組

〈取組概要〉

- 豊かな心を育むために、校長講話や児童会活動など、多方面から定期的にアプローチすることで、児童一人一人の心に思いやりの気持ちや友情が根づくことを目指しています。

〈具体的な取組内容〉

- 1 「あったか言葉・あったか行動」の取組
児童一人一人が思いやりの気持ちをもち、温かい言動があふれる学級・学校にしていくことを目指して「あったか言葉・あったか行動」をスローガンにしています。このポスターを各学級にも掲示し、日常の指導にも生かしています。この取組により、互いに温かい言動を意識し、いじめアンケートでも、「嫌な思いをしている」と答える児童が減少し、日常のトラブルも減りつつあります。
- 2 全校遊びや縦割り班清掃による異学年交流
月に1回程度、休み時間に児童会書記局や各委員会主催の全校遊びを開催し、全校児童で、「なかよし遊び」や「だるまさんが転んだ」「ストップゲーム」等を楽しんでいます。また、縦割り班での清掃や合同学習等での異学年交流により、絆を深めています。



縦割り班による異学年交流活動「中央小まつり」

〈取組概要〉

- 児童会役員が中心となり、5つの縦割り班を構成し、それぞれの班で催し物を決める。
- 活動を通して、低・中・高の各ブロック（学年）の達成目標を意識した活動を促す。



〈具体的な取組内容〉

実施日 令和3年11月26日（金）

- 1 開・閉会式は、児童会役員が中心となって進行した。
- 2 閉会式では、各学年の代表が感想を述べた。
- 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、保護者・地域への案内は、今年度も中止し、児童のみの交流とした。
- 4 それぞれの催し【ボーリング、射的、チャレンジランキング（キックターゲット）、障害物】にチャレンジし、その記録によってスタンプをもらう。
- 5 受付や計時・記録などは、全て児童自身で行った。
- 6 今年度は、密を避けるため、体育館、音楽室、図工室、1階の余剰教室で実施した。

「みんなでそうじ」

〈取組概要〉

- 児童会書記局として新たな取組で、縦割り班で掃除を行うことを通して他学年交流を深めるとともに、高学年が下級生のお世話をすることで上級生としての自覚をもつことを目指し、企画・実施しました。これまでの清掃箇所を児童縦割り班に再編し、児童会だよりと校内放送で周知して準備を進めました。6年生が緊張した1年生を出迎えて初日がスタートしました。初めてのメンバーによる清掃箇所なため、言葉数が少なくぎこちない様子が見られましたが、高学年を中心に声かけを続けていく中で、次第に要領を得て最終日にはほとんどの班が時間内で終わらせることができました。

〈具体的な取組内容〉

- 1 清掃箇所と児童の割り当て（1～6年生、17班編制）
 - 2 全児童への周知（児童会だより、校内放送）
 - 3 各班長と清掃区域担当教諭との打合せ
 - 4 実施
- 児童の学び
 - ・高学年 — 下級生への接し方、模範的な振る舞い
 - ・低学年 — 清掃方法の習得、高学年への憧れ



あいさつ運動～タンバリンにグータッチ！！～

〈取組概要〉

- 11月8日(月)～12日(金)の5日間、朝の登校時間に児童会三役が各教室を回り、全校児童と元気の良い挨拶を行うことで全校児童の絆を深め、心の成長につなげていく。



〈具体的な取組内容〉

- 1 児童会による啓発活動
 - ・あいさつ運動の取組を全校朝会で全校児童に説明
 - ・児童会便りを発行し、実施期間や実施内容を啓発
- 2 児童会役員によるあいさつ運動
 - ・児童会役員が朝の登校時間に各教室を回る
 - ・元気の良いあいさつを行うとともに、役員が持っているタンバリンにグータッチをしてもらい、より良い絆づくりを推進する

外部講師による「情報モラル教室（ネット安全教室）」

〈取組概要〉

- 外部講師を招き、1～4年生の児童生徒と保護者を対象に「情報モラル教室（ネット安全教室）」を行った。子ども達の利用率が年々上昇しているインターネットやスマートフォン。利用時の注意点やマナーなどについて様々な事例を通して学習した。



〈具体的な取組内容〉

- NTT東日本による「ネット安全教室」（1～4年、5～9年の2回に分けて実施）
 - ・コミュニケーションアプリは短い言葉でのやりとりが多く、自分の思いが正しく伝わらないことがあるので、相手のことをよく考えてやりとりすることが大切であることを学習した。
 - ・あやしいホームページやメッセージを開かないよう注意が必要であることを学習した。
 - ・ホームページなどに書いてあることが正しいかどうかよく考えることを学習した。
 - ・インターネットには、個人がわかる情報を入れたりしないようにすることを学習した。

笑顔の木プロジェクト（児童会が主体となって取り組む「いじめ撲滅運動」）

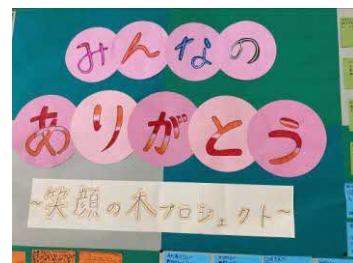
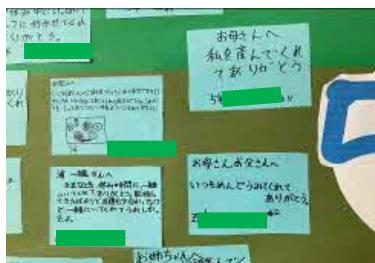
〈取組概要〉

- 「いじめを許さない校風作り」のため、「自分」がしてもらってうれしかったことを伝え、（書き）友達と遊んだり話したりするときにも、やさしい気持ちで接して笑顔いっぱいの深川小学校になってほしいと児童会書記局が全校児童に呼びかけて取り組みました。



〈具体的な取組内容〉

- 1 全学年児童が付箋紙に友達や家族などしてもらってうれしかったことを考えて書き、それを「笑顔の木」になるように貼って体育館に掲示する。
- 2 全校児童全員でみんなが深川小学校に通う仲間であることを再確認し、みんなが仲良く楽しめる学校になるために「いじめは絶対に許されない。」ことを理解する。



「納小フェスティバル」異学年交流活動から絆を強める

〈取組概要〉

- 児童会役員が中心となり、総合的な学習の時間を活用し「納小フェスティバル」を行っている。全校児童44名をたて割りで3つの班に分けて活動する。各班で工夫を凝らした店を作り簡単なゲームと、リサイクルできるものを生かした商品を作製し、販売を行う。



〈具体的な取組内容〉

- 1 高学年が中心的な立場になり、店の立案・計画・実施に向けて計画的に取り組む。
- 2 販売する商品は全員が試作品を作り、班の中でプレゼンテーションし、グループ全員で相談して決める。作製の際に異学年が混ざるメンバーになるよう工夫し、お互いに協力し合いながら作製する。
- 3 当日はグループを半分に分け、お店の運営とお客さんにして活動をする。時間で交代をし、全員が両方の役を行う。実施後、グループごとに反省をし、今後の活動に生かす。
- 4 当日は保護者に公開し、お客さんとして店を回ってきていただき、児童の活動の様子を見ていたく。